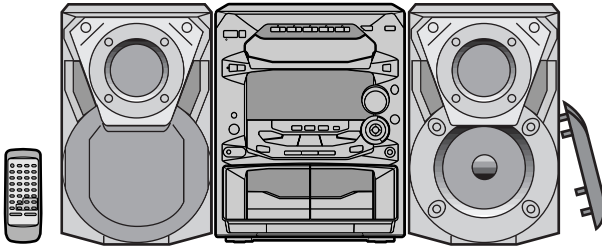
Panasonic®



CDステレオシステム

取扱説明書

品番SC-AK18

上手に使って上手に節電

保証書別添付

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

このたびは、CDステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

RQT5497-S



もくじ

まず 確認と準備

すぐ 使いたいとき

もっと 使いこなしたいとき

もし 必要なとき

ご使用前に

使いかた

必要なとき

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です）

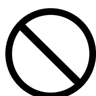
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 警告

電源コードについて

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

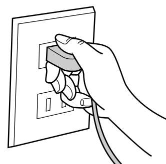
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。



- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む





- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

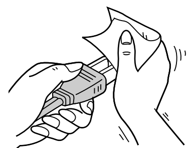
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



- 感電の原因になります。

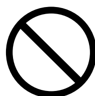
電源プラグのほこり等は定期的にとる

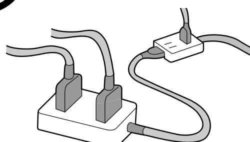




- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



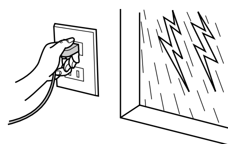


- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線、機器やプラグに触れない

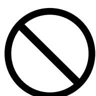




- 感電の恐れがあります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

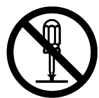


- ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠警告

ご使用について

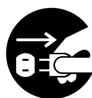
分解、改造したりしない


分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

以下のようなときは電源プラグを抜く

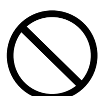
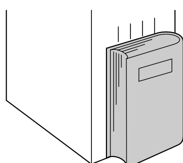

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠注意

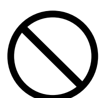
設置・接続について

放熱を妨げない

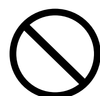
- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない



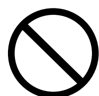
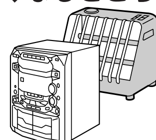
- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

以下のことを守り正しく設置する



- **不安定な場所に置かない**
- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **スピーカーを壁や天井に取り付けない**
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

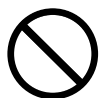
スピーカーは付属のものを接続する



- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

CD挿入口の奥には手を入れない


指に注意

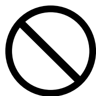
- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意

⚠ 注意

ご使用について

機器に乗らない

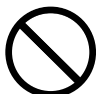


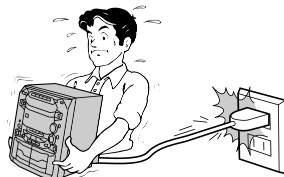


- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない





- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

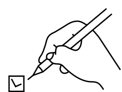
以下のことを守り正しく取り扱う



- **⊕や⊖は正しく入れる**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使用しない**
- **被覆のはがれた電池は使用しない**

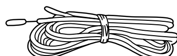
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品の確認

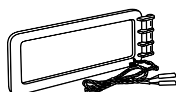


接続のまえに、まず付属品を確かめてください。

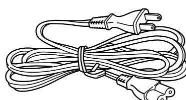
□FM簡易型アンテナ1本
（品番RSA0006-J）



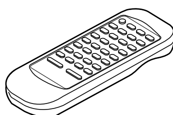
□AMループアンテナ
（品番RSA0029）



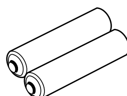
□電源コード1本
（品番RJA0059-J）



□リモコン1コ
（品番EUR648201）



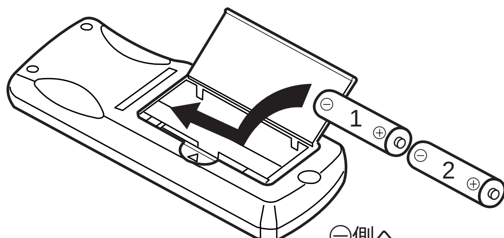
□リモコン用乾電池2本
（単3形マンガン乾電池）



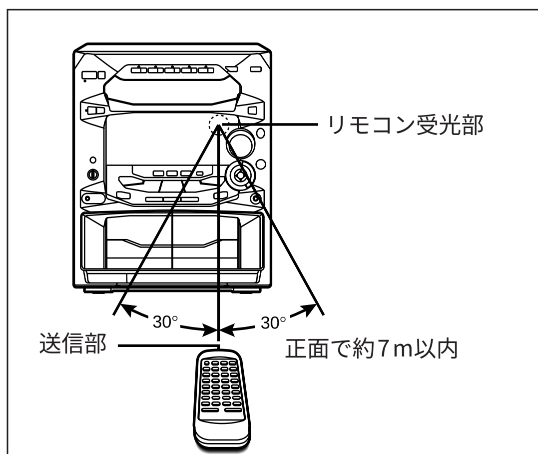
- 電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
  カッコ（　）内は、買い替え時の品番を表します。

リモコンの準備

乾電池の入れかた



リモコンの使いかた



■使用上のお願い

- 受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部とリモコン先端のほこりに注意。

■故障防止のために

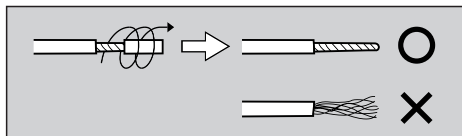
- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

■本体をラックに入れて使用するとき

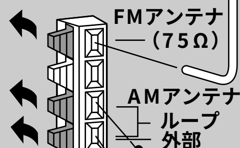
ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

接続

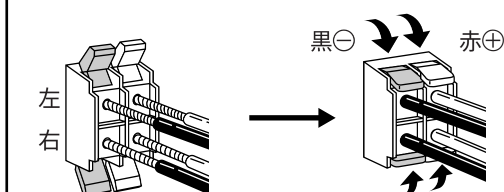
準備：各コード先端のビニール部分は、ねじりながら抜き取ります。



1



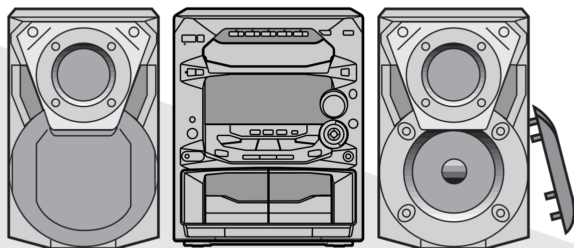
端子のレバーと、同じ色のコードをつなぎます。



3

設置 スピーカーは右、左とも、同じ形です。
どちらに置いてもかまいません。

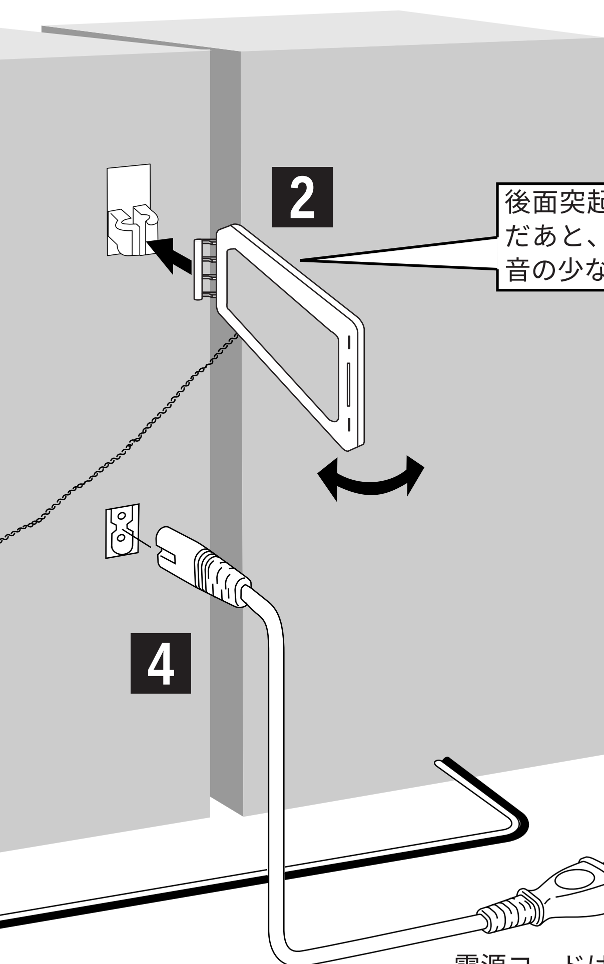
スピーカー（SB-AK18）　センターユニット（SA-AK18）　スピーカー（SB-AK18）



お願い

- 本機のスピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコンなどの近くに置かないでください。
- 本体とスピーカーは放熱効果維持のため、10mm以上離してください。

FM簡易型アンテナをつないだあと、実際に放送を受信してみて（➪14ページ）、雑音の少ない位置で、壁や柱に止めます。



後面突起部にAMループアンテナを挿入します。つないだあと、実際に放送を受信してみて（➪14ページ）、雑音の少ない角度に調節します。

ラジオを聞くには
FM簡易型アンテナ/AMループアンテナは必ず接続してください。
接続しないと放送局を受信しません。

家庭用電源コンセント
[AC100V 50/60Hz]

電源コードは最後に接続します。

お願い

- 付属のスピーカー以外はご使用になれません。
  本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の再生音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。
- ⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因になります。

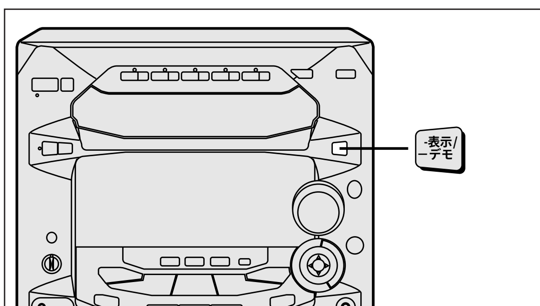
■本機を長期間使用しないときは

節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
ただし、再使用時には、放送局の設定など、各種メモリーの再設定が必要です。
[電源]で電源を切った状態でも、以下の電力を消費しています。

- ECOモードのとき：0.25 W
- NORMALモードのとき：12 W

本機の各種メモリー（時計をのぞく）は、電源コードを抜いた状態で、約1週間保持されます。

デモ機能を切るには



- 電源コードをつなぐと、表示が次々に変化するデモ機能が、自動的に働きます。
- お買い上げ時は、「入」になっています。
- 節電機能（➪11ページ）を効果的に使うために、デモ機能を「切」にしておくことをおすすめします。

■デモ機能の切りかた

“ NO DEMO ”と表示するまで、
[-表示/ーデモ]を押し続ける

押し続けるたびに
DEMO（入）⇄ NO DEMO（切）

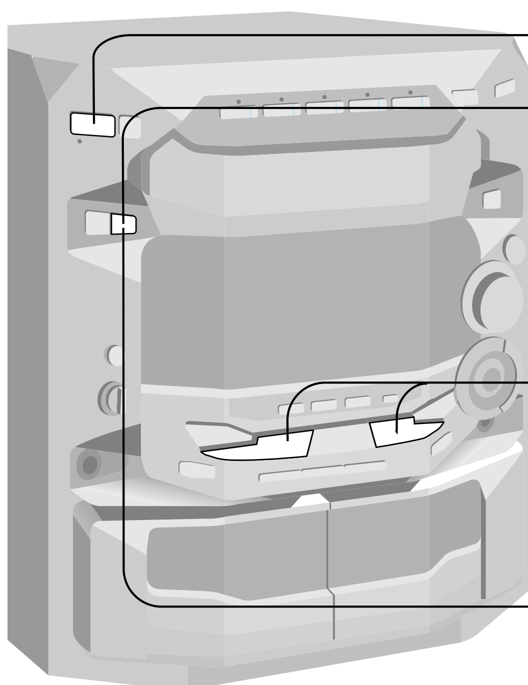
- 電源「切」時でもデモ機能を切ることができます。

お知らせ

本機の時計を合わせると、電源「切」時のデモは働きません。

時計を合わせる（24時間表示）

例：16時25分(午後4時25分) に合わせる。



1 **[電源]を押す**
電源が入ります。

2 **[時刻/タイマー]を押して**
“ CLOCK ”を表示させる

CLOCK → 0:00

押すたびに
CLOCK→◷PLAY→◷REC
↑―― 元の表示 ←――┘

3 **約7秒以内に いずれかを押して**
時間を合わせる

- 押し続けると時刻表示が連続して変化します。
- 元の表示に戻ったときは手順 **2** からやり直してください。

4 **時報に合わせて**
[時刻/タイマー]を押す

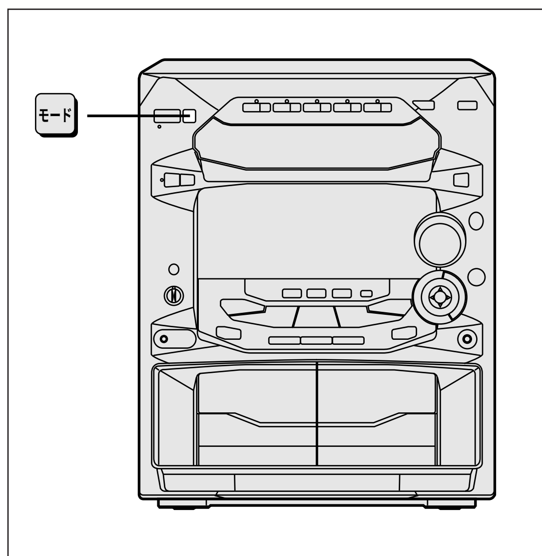
16:25

時計合わせが完了し、表示パネルは元の表示に戻ります。

■時計を表示させるには

- ECOモード（➪11ページ）で電源「切」の場合
[-表示/ーデモ]を押す。
時計を約5秒間表示します。
- NORMALモード（➪11ページ）で電源「切」の場合
常に時計を表示しています。
- 電源「入」の場合
[時刻/タイマー]を押す。
“ CLOCK ”のあと時間を約5秒間表示します。

節電機能を使う



●電源「切」時（待機時）の消費電力が小さくなり、節電になります。
●お買い上げ時は、「ECO（エコ）」です。

モード	ECO（エコ）	NORMAL（ノーマル）
表示パネル	全消灯（AC INランプのみ点灯）	時計表示など
待機時の消費電力	0.25W	12W

■節電機能の切り換えかた

電源を入れ、[モード]を押す

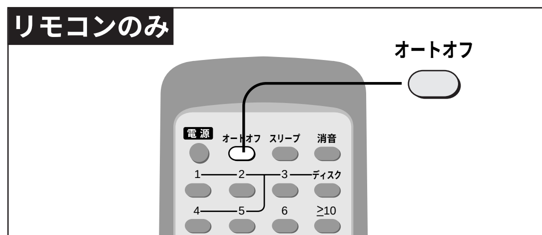
現在のモードを表示します。
モード表示中に、もう一度押すと、NORMAL／ECOが切り換わります。

お知らせ

電源「切」時でも、NORMAL→ECOに切り換えられます。ただし、逆には切り換えられません。

オートオフ機能を使う

リモコンのみ

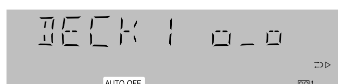


お知らせ

●一度設定しておくと、電源を切/入してもオートオフ機能が働きます。
●CD、テープモード以外のとき、“AUTO OFF”表示は消えますが、CD、テープモードにすると表示が戻ります。

電源の切り忘れを防ぎます。
CD、テープモードのとき、再生を停止したまま4分間操作しないと、自動的に電源が切れます。

[オートオフ]を押す



■解除するには

もう一度[オートオフ]を押し表示を消す。

デモ機能／時計合わせ

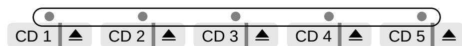
ご使用前に

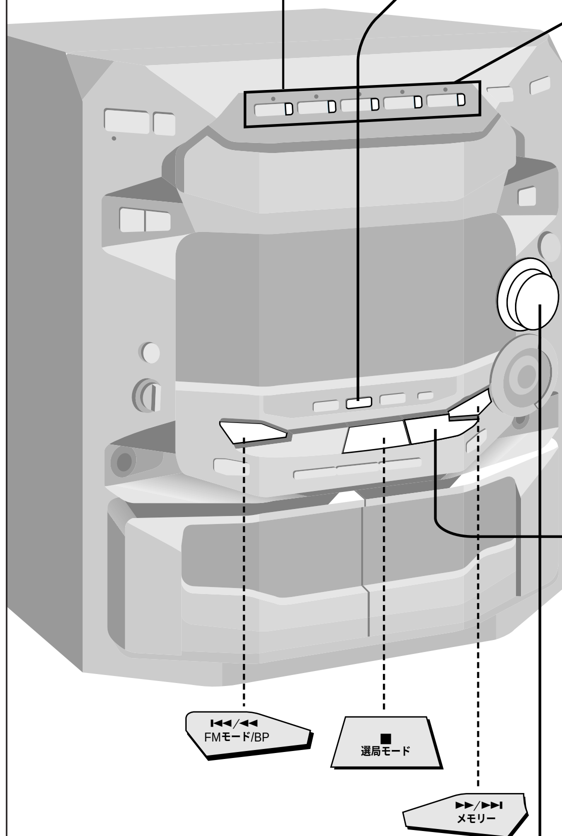
節電機能／オートオフ機能

CDを聞く

CDランプの点灯について

- 演奏中のCDの位置を示しています。
- 停止中はCDの有無に関係なく、演奏待機位置を示しています。





CD演奏中に、CDを入れたり交換することはできません。必ず、停止状態で行ってください。

- **最終CDとは？**

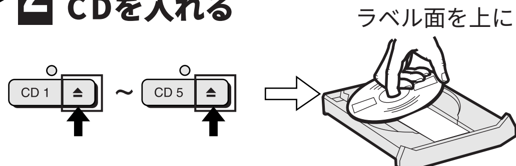
たとえばCD4から演奏を始めた場合、演奏順序は4-5-1-2-3となり最終CDはCD3になります。

1 [CD]を押す

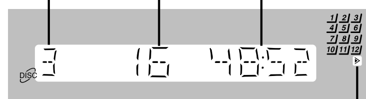
自動的に電源も入り、CDに切り換わります。すでにCDが入っているときは演奏も始まります。(ワンタッチプレイ)

- “ NO DISC ”と表示されたらトレイにCDが入っていないことを示します。

2 [▲]を押してトレイを開け CDを入れる



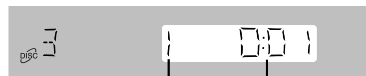
閉めるには、同じボタンをもう一度押す。



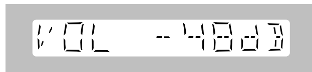
3 [▶/❚❚]を押す

CDランプが点灯しているCDの1曲目から最終CDの最終曲まで、順に演奏して、自動停止します。

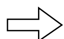
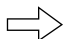
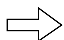
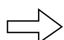
([CD1]〜[CD5]で、CDを選んで聞くことも可能)



4 [音量]を回して 音量を調節する



−−dB (最小) 0dB (最大)

■途中で止めるには			**押す**
■一時停止するには			**押す** (再開するにはもう一度押す)
■早送り、早戻しするには (サーチ)		 	**演奏(または一時停止)中に押し続ける**
■曲を前後に飛び越すには (スキップ)		 	**押す**

テープを聞く

再生できるテープは？

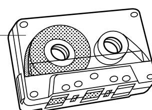
NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ	○
METAL POSITION/TYPE Ⅳ	○

テープの種類は自動的に判別されます。

デッキ1、2のどちらでも演奏できます。（ここではデッキ1で説明します）

1 [デッキ1/2、テープ]を押す
自動的に電源も入り、テープに切り換わります。すでにテープが入っているときは演奏も始まります。（ワンタッチプレイ）

2 [デッキ1≜]を押してホルダーを開けテープを入れる



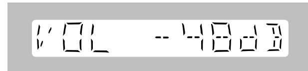
ホルダーを手で閉める。
テープの走行方向は、自動的におもて面（▷）になります。

3 [反転モード]を押してモードを選ぶ
押すたびに: ⇄ → ⇄⊃ → ⊂⇄⊃

⇄ ：片面だけ再生して自動停止
⇄⊃ ：おもて面→裏面を再生して自動停止
⊂⇄⊃ ：両面を8回再生して自動停止

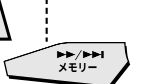
4 [▶/❚❚]または[◀]を押す
再生が始まります。 テープの走行方向
▶/❚❚ ：おもて面から
◀ ：裏面から

5 [音量]を回して音量を調節する



－－dB（最小） 0dB（最大）

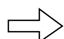




デッキ1 デッキ2

● **両デッキのテープを続けて聞くには**
反転モードで“⊂⇄⊃”を選び再生する。あとからテープを入れた方のデッキから始まります。（[デッキ1/2、テープ]を押して選ぶこともできます）

■途中で止めるには





押す

■早送り、早戻しするには







停止中に押す

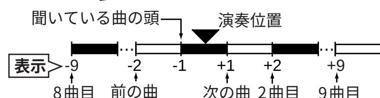
■曲の頭出しをするには（TPS機能）







演奏中に押す
（次曲方向9曲、前曲方向8曲まで飛び越し可能）



お知らせ

TPS機能は、曲間の約4秒間の無音部を検出して働くため、以下のような場合、正しく動作しないことがあります。
● 曲間が短い ● 曲間に雑音がある ● 曲中に無音に近い部分がある

ラジオを聞く

1 **[FM/AM、ラジオ]を押して**
“ FM ” または “ AM ” を選ぶ

自動的に電源も入り、ラジオに切り換わります。（ワンタッチプレイ）
押すたびに: FM⇄AM
（TV音声を受信する時は “ FM ” を表示させる）

2 **[■、選局モード]を押して**
“ MANUAL ” を選ぶ

押すたびに
MANUAL⇄PRESET

3 **[選局/時刻調整(∨または∧)]を押し**
周波数を合わせる

TUNED :正確に受信すると点灯
STEREO:FMステレオ放送を受信すると点灯

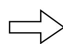
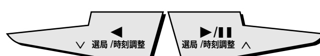
4 **[音量]を回して**
音量を調節する

－－dB（最小） 0dB（最大）

TV音声1～3chの受信位置について

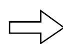
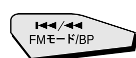
95.7MHz－TV1ch－95.8MHz
101.7MHz－TV2ch－101.8MHz
107.7MHz－TV3ch－107.8MHz

■自動選局するには
（オートチューニング）

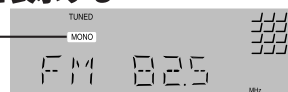



押し続け、周波数が動き始めたら指を離す
（最初に受信した放送局で停止）

■FMステレオ放送で雑音が多いときは

押して “ MONO ” を表示する
押すたびに
MONO ⇄消灯



通常は、消灯にしておきます。

お知らせ

- 山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは、屋外アンテナの接続をおすすめします。（⇨27ページ）
- オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、受信せずに周波数が止まることがあります。
- 本機のTV受信回路は、FM受信回路と兼用しているため、2または3chにFM放送が混信することがあります。
- AM放送受信中にテープを出し入れすると、音が少し途切れます。

CDを録音する（デッキ2のみ）

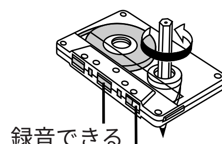
録音できるテープは？

NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ（ノーマルポジション）	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ（ハイポジション）	○
METAL POSITION/TYPE Ⅳ（メタルポジション）	×

テープの種類は自動的に判別されます。

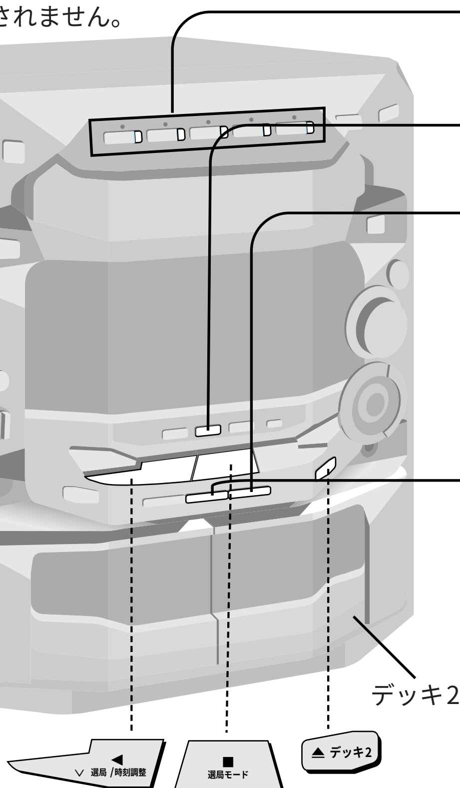
本機では、メタルポジションテープを使うことはできますが、正しく録音（消去）されません。

準備：
リーダーテープ部を巻きとり、デッキ2に録音用テープを入れる。



録音できる

録音できない（リーダーテープ部）



1 [⏏]のいずれかを押してトレイを開け録音したいCDを入れる

閉めるには、同じボタンをもう一度押す。

2 [CD]を押す

CDモードになります。

3 [反転モード]を押してモードを選ぶ

押すたびに: ⇄ → ⇄⊃ → ⊂⇄⊃

⇄：片面だけ録音して自動停止

⇄⊃ ⊂⇄⊃：おもて面→裏面に録音して自動停止

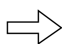
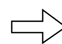
⊂⇄⊃を選ぶと自動的に⇄⊃に変わります。

4 [●録音/停止]を押す

録音が始まります。

自動的におもて面（▷）から録音されます。
1曲目から録音が始まります。
（CDの演奏が終わると、テープも自動停止）

■録音を止めるには

- **頭出し用の4秒間の無音部を作って止めるとき** ⇨   **押す**（CDも止まります）
- **無音部を作らず、すぐ止めるとき** ⇨   **押す**（CDも止まります）

●テープを裏面から録音するには

① [デッキ1/2、テープ]を押してデッキ2を選ぶ。
② [◀]（裏面）を押し、走行方向を変え、すぐに[■、選局モード]を押してテープを止める。
③ 上記録音操作を行う。

●CDの好みの数曲を録音するには

① 好みの曲を予約する。（⇨17ページ）
② [●録音/停止]を押して、録音を始める。

●複数枚のCDを続けて録音するには

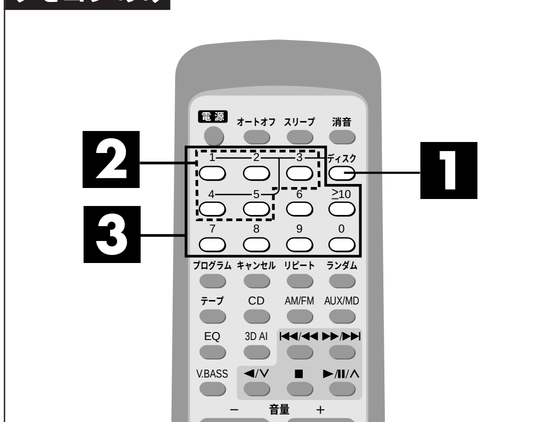
① 録音したいCDを入れる。
② 最初に録音を始めるCDを選ぶ。
- [CD1]～[CD5]のいずれかを押し、録音を始めたいCDを演奏する。
- [■、選局モード]を押して演奏を止める。

③ 上記手順3～4を行なう。

●録音時の音量/音質について （⇨23ページ）

CDの聞きかた

好みの曲から聞く（ダイレクトプレイ）



1 **[ディスク]を押す**

2 **約10秒以内に、[1]～[5]を押して CDを選ぶ**

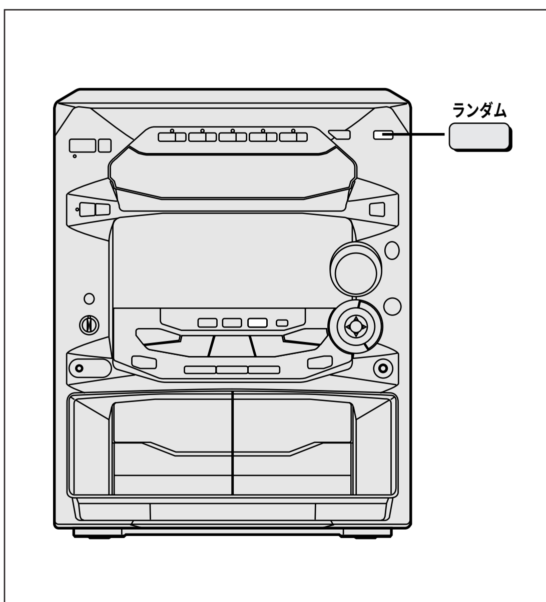
3 **数字ボタンを押して 曲番を選ぶ**

選んだ曲から自動的に演奏が始まります。最終CDの最終曲まで、順に演奏して自動停止します。

曲番10以上を選ぶには

例）曲番12：[≥10]→[1]→[2]
　　曲番30：[≥10]→[3]→[0]

順不同に聞く（ランダムプレイ）



[ランダム]を押して
モードを選ぶ（“ RANDOM ”が点灯）

1-DISC：1枚のCDが対象
ALL-DISC：入っている全CDが対象
順不同に1回ずつ演奏して、自動停止します。



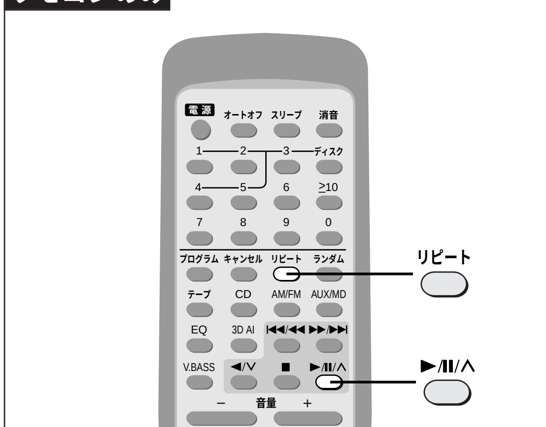
■解除するには

[ランダム]を押して、“ RANDOM ”を消す。

お知らせ

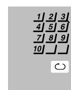
- リピートプレイやプログラムプレイと組み合わせて使えます。
- [⏮/◀◀]を押しても、前の曲に戻りません。
- ランダムプレイ中にサーチすると、演奏中の曲の中でだけ早送り・早戻しします。

くり返し聞く（リピートプレイ）



停止中または演奏中に
[リピート]を押す（“ ⭮ ”が点灯）

（停止中のみ、次に[▶/II/∧]を押す）
入れているCDの全曲をくり返します。



■解除するには

[リピート]を押して、“ ⭮ ”を消す。

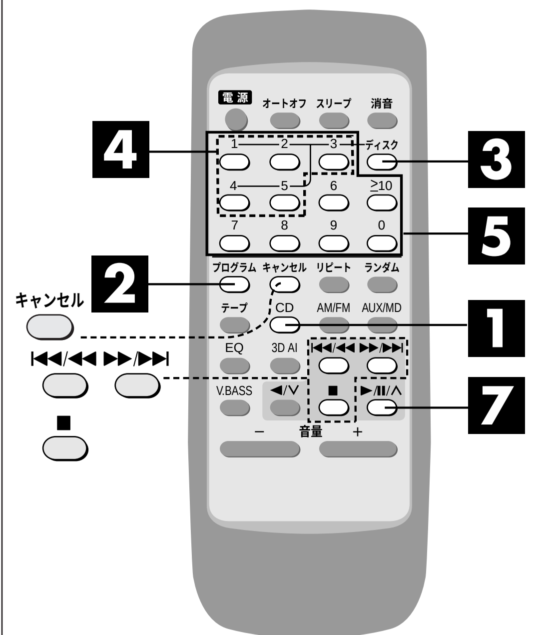
■好みの1曲／数曲をくり返すには

① 好みの曲を予約する。（➪17ページ）
② [リピート]を押して、“ ⭮ ”を表示させる。
③ [▶/II/∧]を押す。
1曲をくり返し聞くときは、CDマネージャー（➪20ページ）との組み合わせでも行えます。

好みの曲を予約順に聞く（プログラムプレイ）

最大24曲まで予約できます。

リモコンのみ



1 **[CD]を押す**

2 **停止中に[プログラム]を押す**

PRGM

3 **[ディスク]を押す**

4 **約10秒以内に、[1]〜[5]を押してCDを選ぶ**

5 **数字ボタンを押して曲番を選ぶ**

予約した曲番　予約順

曲番10以上を選ぶには

例）曲番12：[≥10]→[1]→[2]
　　曲番30：[≥10]→[3]→[0]

6 **手順3〜5をくり返して予約を完了する**

7 **[▶/❚❚/∧]を押す**

予約曲を順に演奏して、自動停止します。

■途中で止めるには

[■]を押す。

本機は予約状態モードになります。

■解除するには

停止中に、[プログラム]を押して“PRGM”を消す。（予約内容は保持されます）

■もう一度同じ内容で演奏するには

① 停止中に[プログラム]を押し“PRGM”を表示させる。
② [▶/❚❚/∧]を押す。

■予約状態モードのときは次の操作ができます

•予約を確認する

[◀◀/◀◀]または[▶▶/▶▶❙]を押す。
押すたびに、予約したCDと曲番、予約順が表示されます。

•予約を追加する

手順3〜5をくり返す。

•予約を取り消す

最後の曲から順に	[キャンセル]を押す
指定の曲だけ	① [❙◀◀/◀◀]または[▶▶/▶▶❙]で曲番を選ぶ。 ② 約3秒以内に[キャンセル]を押す。
全曲	[■]を押す。予約状態も解除されます。

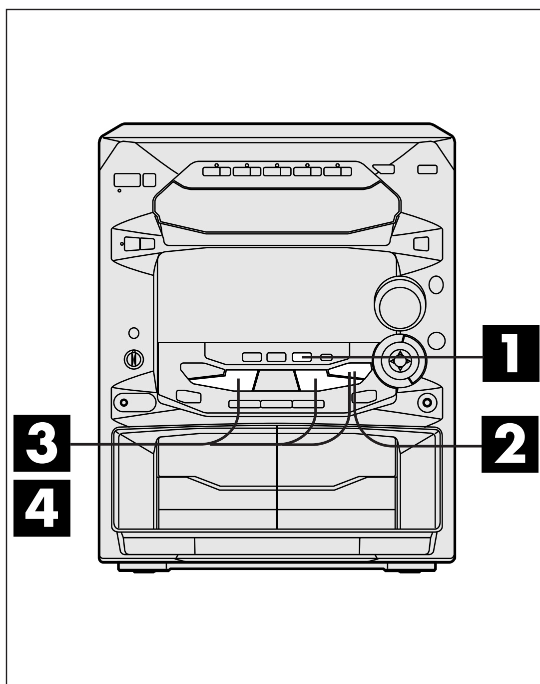
お知らせ

- プログラムプレイ中にサーチすると、演奏中の曲の中でだけ早送り・早戻しします。
- 表示パネルに“CD FULL”と表示したら予約曲数が24曲を超えたことを表しています。これ以上の予約はできません。
- 予約した曲の総演奏時間は表示されません。

放送局を記憶させて聞く

放送局を記憶させる

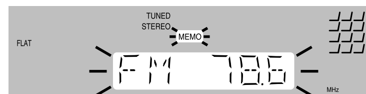
放送局を本機に記憶させておくと、次から簡単に選局できます。(FM、AMに各12局まで)



1 **[FM/AM、ラジオ]を押して“ FM ”または“ AM ”を選ぶ**

押すたびに: FM⇄AM
TV音声(1～3ch)を記憶させるときも、“ FM ”を表示させる。

2 **[▶▶/▶▶I、メモリー]を押して“ MEMO ”と受信局を点滅させる**

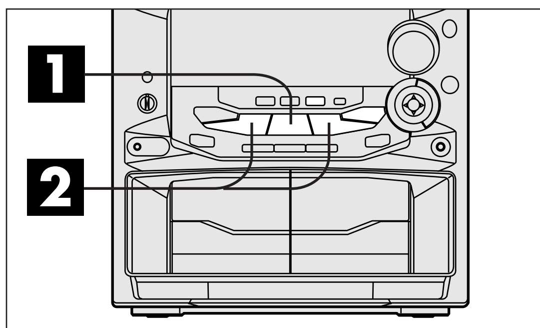


3 ① **[選局/時刻調整(∨または∧)]を押して放送局を選び**
② **[▶▶/▶▶I、メモリー]を押す**

4 ① **[選局/時刻調整(∨または∧)]を押してプリセットチャンネルを選び**
② **[▶▶/▶▶I、メモリー]を押す**

5 **手順 2～ 4をくり返し、各プリセットチャンネルに好みの放送局を記憶させる**

記憶させた放送局を聞く



1 上記手順 1のあと
[■、選局モード]を押して“ PRESET ”を選ぶ

押すたびに
MANUAL⇄PRESET

2 **[選局/時刻調整(∨または∧)]を押してプリセットチャンネルを選ぶ**

■放送局を自動で記憶させるには

① 「放送局を記憶させる」の手順 1のあと
[■、選局モード]を押して
“ MANUAL ”を選ぶ。
② [選局/時刻調整(∨または∧)]を押して
一番低い周波数にする。
FM:“ 76.0MHz ”　AM:“ 522kHz ”
③ [▶▶/▶▶I、メモリー]を押し続け
周波数が動き出したら指を離す。
- 放送局が順に記憶されます。動作終了後は、最後に記憶した放送局を受信します。

■リモコンでも選局することができます

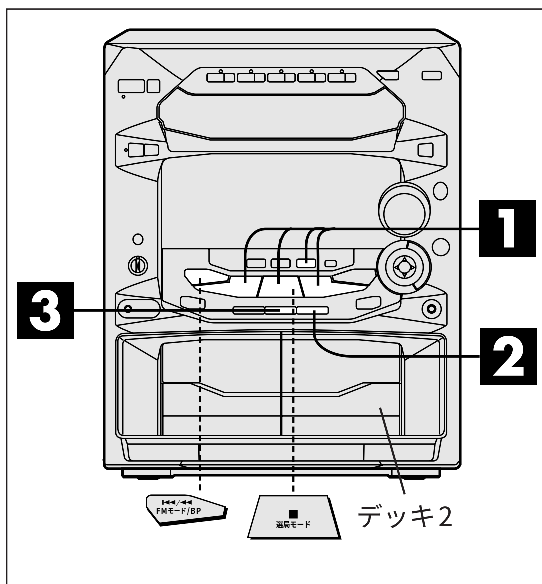
① [AM/FM]を押して
“ FM ”または“ AM ”を選ぶ。
② 数字ボタンを押して
プリセットチャンネルを選ぶ。

プリセットチャンネル10以上を選ぶには

例)チャンネル12:[≥10]→[1]→[2]

いろいろな録音

ラジオを録音する



準備：デッキ2に録音用テープを入れる。
テープの走行方向は、自動的におもて面になります。
裏面から録音するときは、テープの走行方向を変えてください。(⇨15ページ)

1 ラジオ放送を受信する

2 [反転モード]を押してモードを選ぶ
押すたびに: ⇄ → ⇄⊃ → ⊂⇄⊃

⇄：片面だけ録音して自動停止
⇄⊃ ⊂⇄⊃：おもて面→裏面を録音して自動停止

3 [●録音/停止]を押す
録音が始まります。

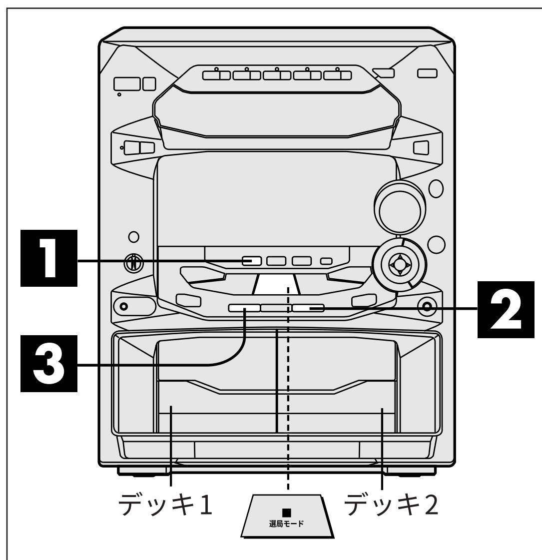
■録音を止めるには
[●録音/停止]（または[■、選局モード]）を押す。

■録音時の音量/音質について (⇨23ページ)

■AM放送録音時に雑音が多いときは（ビートプルーフ機能）
[⏮/◀◀、FM モード/BP]を押す。
押すたびに　BP1⇄BP2
雑音の少ないほうにしてください。

テープからテープに録音する（テープダビング）

再生用テープの録音レベルがそのまま録音されます。



準備：デッキ1に**再生用テープ**を入れる。
デッキ2に**録音用テープ**を入れる。

1 [デッキ1/2、テープ]を押す
デッキ1、2どちらを表示させても構いません。

2 [反転モード]を押してモードを選ぶ
押すたびに: ⇄ → ⇄⊃ → ⊂⇄⊃

⇄：片面だけ録音して自動停止
⇄⊃ ⊂⇄⊃：おもて面→裏面を録音して自動停止

3 [テープ編集]を押す
録音が始まります。

ダビング時、点灯



両デッキとも、テープの走行方向は、自動的におもて面になります。
録音が終わると、両デッキとも止まります。

■録音を止めるには
[■、選局モード]を押す。
両デッキとも止まります。

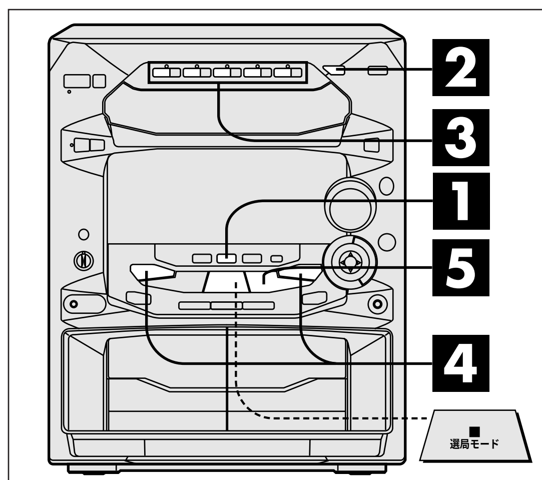
■録音時の音量/音質について (⇨23ページ)

CDや曲を指定して演奏/録音する（CDマネージャー）

演奏する

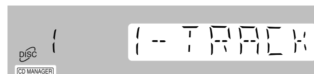
次の3つの機能が楽しめます。

- **1曲ねらい録り＆演奏（1-TRACK）**
  入れているCDの中から、1曲だけを指定できます。（たとえばディスク2の曲番1だけ）
- **まる録り＆演奏（1-DISC）**
  入れているCDの中から、1枚だけを指定できます。（たとえばディスク2だけ）
- **連続1曲ねらい録り＆演奏（1-ALL）**
  入れているCDの同じ曲番だけを指定できます。（たとえば各CDの曲番1だけ）



1 [CD]を押す

2 停止中に[CDマネージャー]を押して指定モードを選ぶ



（例：1-TRACKモード）

押すたびに
1-TRACK → 1-DISC → 1-ALL
↑— NORMAL（解除）←
（NORMAL：約3秒で元の表示に戻る）

3 [CD1]～[CD5]を押してCDを指定する

1-ALLのとき：常にCD1→CD5の順になるため、操作は不要です。

4 [⏮/◀◀]または[▶▶/⏭]を押して曲番を指定する



1-DISCのとき：操作は不要です。

5 [▶/❚❚]を押す

演奏が始まります。

■演奏を止めるには
[■、選局モード]を押す。

■ " 1-ALL " で演奏中は
指定した曲番がCDにないときは、そのCDをとばして演奏を続けます。

お知らせ

- リピートプレイやランダムプレイと組み合わせて使えます。
- 演奏が終わるとCDマネージャーは自動的に解除されます。

録音する

おもて面終端で途切れた曲は、裏面に最初からもう一度録音します。



裏面で途切れた曲はそのままになります。
反転モードは、自動的に " ⇄ （両面）" になります。

準備：デッキ2に録音用テープを入れる。

上記手順 1～4 のあと

[●録音/停止]を押す

録音が始まります。
テープの走行方向は、自動的におもて面になります。
裏面から録音するときは、テープの走行方向を変えてください。（⇨15ページ）

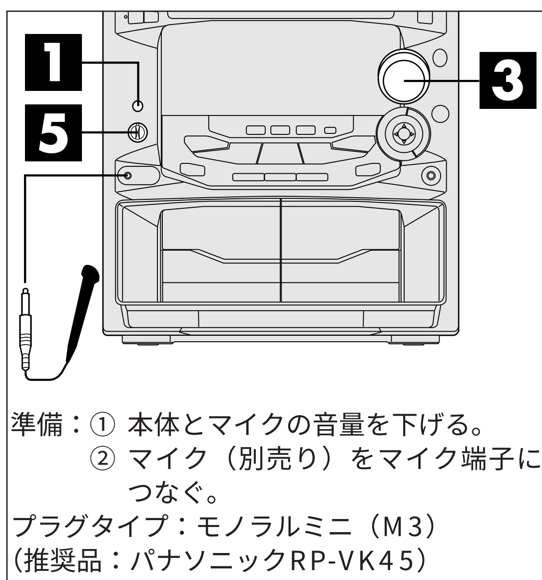
■録音を止めるには

- **頭出し用の4秒間の無音部を作って止めるとき**
  [■、選局モード]を押す。（CDも止まります）
- **無音部を作らず、すぐ止めるとき**
  [●録音/停止]を押す。（CDも止まります）

■録音時の音量/音質について

- 録音レベルは自動的に設定されます。
- 音量/重低音効果を変えた場合、演奏音には効果はありますが、録音されるテープには影響しません。
- 音質は変えられません。

カラオケ（マイク）を楽しむ



準備：① 本体とマイクの音量を下げる。
② マイク（別売り）をマイク端子につなぐ。
プラグタイプ：モノラルミニ（M3）
（推奨品：パナソニックRP-VK45）

■解除するには

[カラオケ]を押して、消灯を選ぶ。

■カラオケを録音するには

① 伴奏のソース（音源）を選ぶ。
伴奏がCD：[CD]を押す。
伴奏がテープ：[デッキ1/2、テープ]を押す。
② カラオケ音声モードを選ぶ。
③ 録音を始める。
CDのとき：[●録音/停止]を押す。
テープのとき：[テープ編集]を押す。
④ カラオケを始める。

録音を止めるには

CDのとき：[●録音/停止]を押す。
テープのとき：[■、選局モード]を押す。

■マイクをつないで、こんなこともできます

•マイクから録音する

①[デッキ1/2、テープ]を押す。
② [●録音/停止]を押す。
③ マイクを使う。

•本機を拡声器として使う

①[デッキ1/2、テープ]を押す。
② マイクを使う。
③ マイクと本機の音量を調節する。

お知らせ

- ラジオ放送を使ってのカラオケ・カラオケ録音はできません。
- 音質／音場を変えてカラオケすることもできます。ただし、録音には影響しません。

1 [カラオケ]を押して カラオケ音声モードを選ぶ

押すたびに

V.MUTE → MONO L → MONO R → 消灯（解除）→ V.MUTE

使用するソフトに応じて音声モードを選びます。

[○：カラオケ　●：歌手の声といっしょに]

使用ソフト	音声多重カラオケ •CD •テープ	カラオケ •CD •テープ	ノーマル（普通の歌入り） •CD •テープ
V.MUTE	——	——	○
MONO L	○（伴奏）	——	——
MONO R	●（歌声のみ）	——	——
消灯	●（伴奏+歌声）	○	●（伴奏+歌声）

「—」のモードでは使用しないでください。

V.MUTE（ボイスミュート）を使うときは

ステレオ録音されたCDまたはテープをお使いください。以下のソフトでは効果がなかったり、ノイズが出たりします。

- モノラル録音のソフト
- クラシック、詩吟などで、楽器の少ないソフト
- コーラスが強かったり、デュエットしているソフト

2 CDまたはテープの演奏を始める

3 [音量]を回して 伴奏の音量を調節する

4 カラオケを始める

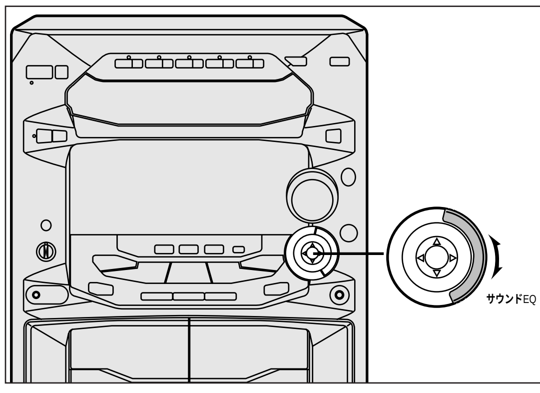
5 [マイク音量]を回して 歌声の音量を調節する

マイクを使うときは

- ハウリング（ピーという音）が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、本機とマイクの音量を下げてください。
- マイク使用後は、マイクの音量を最小にして、マイクを抜きます。

音質を調整する

内蔵の音質/音場を使う



[サウンド EQ]ダイヤルを回して
音質／音場を選ぶ

右に回したときは、次の順序で切り換わります。

① **HEAVY**
ロックなどパンチを効かせるとき。



② **CLEAR**
ジャズなど高音部を鮮明にするとき。

③ **SOFT**
BGMとして聞くとき。

④ **DISCO**
ディスコの長い残響音を出したいとき。

⑤ **LIVE**
ボーカルにツヤを出したいとき。

⑥ **HALL**
大ホールのような広がりを与えたいとき。

⑦ **MANUAL [M.EQ]**（➪下記）

⑧ **AI-EQ**（➪ 23ページ）

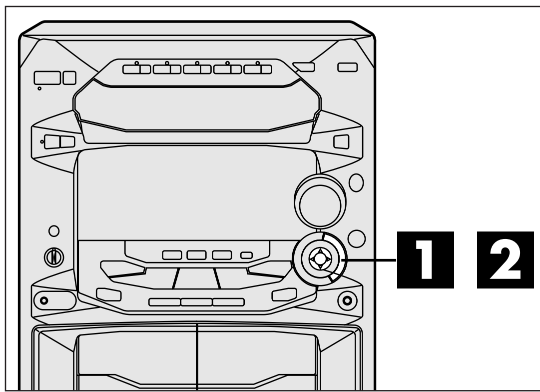
⑨ **FLAT**

■解除するには
[サウンド EQ]ダイヤルを回して
“ FLAT ” を選ぶ。

■リモコンでもできます
[EQ] を押して
好みの音質／音場を選ぶ。

好みの音質に変える（MANUAL）

5つの音域でレベルが変えられるので細かい音質設定ができます。

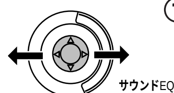


■解除するには
[サウンド EQ]ダイヤルを回して
“ FLAT ” を選ぶ。

■リモコンでもできます
[EQ]を押して
“ MANUAL ” を選ぶ。
MANUALで前回設定した音質に切り換わります。
音質の調節は本体で操作してください。

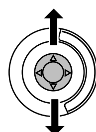
1 **[サウンド EQ]ダイヤルを回して“ MANUAL ” を選ぶ**

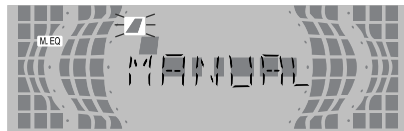
2 **[サウンド EQ]コントローラを操作して好みの音質に調節する**



① **調整する音域を選ぶ**
100Hz：重低音～低音
センター部：中域
10kHz：高域

② **レベルを変える**

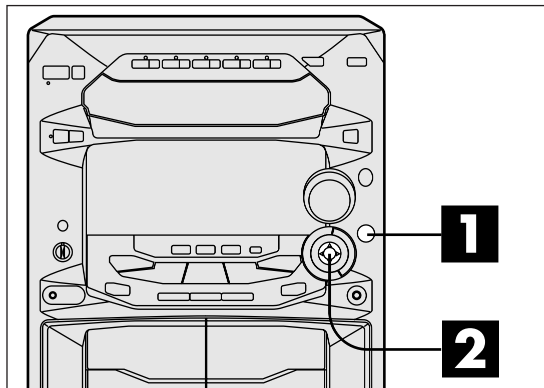




好みの音質になるまで、①、②の操作をくり返します。

音に広がりを与え、音質を変える（3D AI EQ）

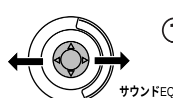
サラウンドとAI EQ の組み合わせで、好みの音づくりが楽しめます。



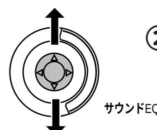
1 **[3D AI EQ]を押して サラウンドのレベルを選ぶ**

3D AI 1（弱）→ 3D AI 2（強）
↑ AI EQ（サラウンド解除）↵

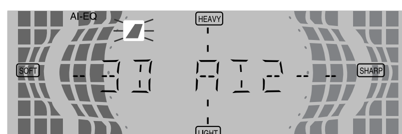
2 **[サウンド EQ]コントローラを操作して 好みの音質に調節する**



① SOFT－SHARPの度合いを調整する（ソフト　シャープ）



② HEAVY－LIGHTの度合いを調整する（ヘビー　ライト）



好みの音場になるまで、①、②の操作をくり返します。

- ソース（音源）によっては、レベルが高いと音がひずむことがあります。このときは、サラウンドのレベルを下げてお聞きください。

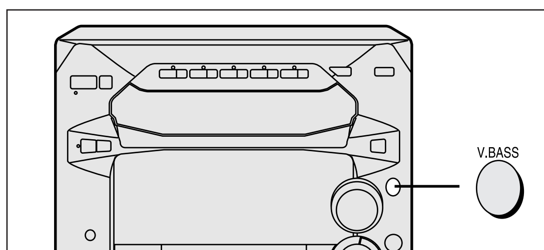
■解除するには

[サウンド EQ]ダイヤルを回して“ FLAT ”を選ぶ。

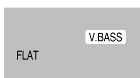
■リモコンでもできます

[3D AI]（または［EQ]）を押して“ 3D AI（またはAI EQ）”を選ぶ。
前回設定した音質に切り換わります。
音質の調節は本体で操作してください。

重低音を強調する（V.BASS）



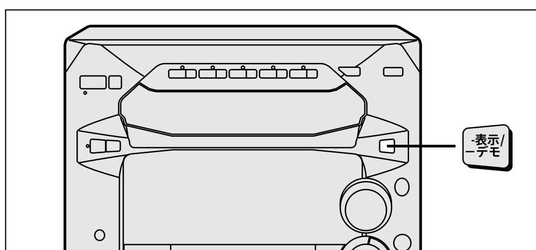
[V.BASS]を押す



■解除するには

[V.BASS]を押して、“ V.BASS ”を消す。

パネル表示の切り換えかた



[-表示/－デモ]を押す

押すたびにスペクトラムアナライザー（各音域の強さを表示）が切り換わります。

●ノーマル ●ピークホールド
●オーロラ ●ワイパー ●消灯

録音時の音量/音質について

- 録音レベルは自動的に設定されます。
- 音量/重低音効果を変えた場合、演奏音には効果はありますが、録音されるテープには影響しません。
- 音質は変えられません。

タイマーを使う

おめざめタイマーを使う

設定した時刻に電源が入り、好みのソースと音量で演奏し終了時刻になると自動的に電源が切れます。

準備：① 電源を入れる。
② **時計を合わせる。**（10ページ）
例：6時30分から7時40分まで、
好みのソースと音量で演奏する。

1 **[時刻/タイマー]を押して**
“ ⊙PLAY ” を表示させる
押すたびに
CLOCK→⊙PLAY →⊙REC
↑___ 元の表示 ___↲

2 ① **約7秒以内に**
[選局/時刻調整(∨または∧)]を押して
演奏開始時刻に合わせ

② **[時刻/タイマー]を押す**

③ **[選局/時刻調整 ∧]を押して**
演奏終了時刻に合わせ

④ **[時刻/タイマー]を押す**

3 **ソース（音源）と音量を選ぶ**
CD：[CD]を押しCDを入れる。
テープ　：[テープ、デッキ1/2]を押し、テープを入れる。
ラジオ　：放送局を受信する。
外部機器：[AUX/MD]を押す。（本機と同時刻にタイマー動作するように設定）

4 **[音量]を回して**
おめざめの音量に合わせる

5 **[⊙再生/⊙録音]を押して**
“ ⊙PLAY ” を表示させる

6 **[電源]を押して**
電源を切る

設定した時刻になると、決めた音量までフェードイン（徐々に大きく）して、演奏します。

■解除するには
[⊙再生/⊙録音]を押して
“ ⊙PLAY ” を消す。

■予約した内容を確かめるには（➪ 26ページ）

留守録タイマーを使う

設定した時刻に電源が入り、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

準備：① 電源を入れる。
② **時計を合わせる。**（10ページ）
③ デッキ2に録音用テープを入れる

例：18時30分から20時00分まで、録音する。

1 **[時刻/タイマー]を押して “◴REC” を表示させる**

押すたびに
CLOCK→◴PLAY→◴REC
↑___ 元の表示 ←___

◴REC

2 ① 約7秒以内に
[選局/時刻調整(∨または∧)]を押して演奏開始時刻に合わせ

ON 18:30

② **[時刻/タイマー]を押す**

③ **[選局/時刻調整 ∧]を押して演奏終了時刻に合わせ**

OFF 20:00

④ **[時刻/タイマー]を押す**

3 **いずれかのソース（音源）を選ぶ**

ラジオ　：放送局を受信する
外部機器：[AUX/MD]を押す。（本機と同時刻にタイマー動作するように設定）

デッキ2

4 **[◴再生/◴録音]を押して “◴REC” を表示させる**

TUNED STEREO ◴REC
FM 82.5 MHz

5 **[電源]を押して電源を切る**

頭切れ防止のため、設定した30秒前になるとタイマー動作が始まります。自動的に、音量は最小になります。

■解除するには

[◴再生/◴録音]を押して
“◴REC” を消す。

■予約した内容を確かめるには（➪ 26ページ）

タイマーを使う

タイマー使用時のいろいろな操作

■操作をまちがえたり、予約内容を変えるときは
電源を入れ、最初からやり直す。

■予約した内容を確かめるには
電源「切」時でも確認できます。
[時刻/タイマー]を押して“ ◴PLAY ”（または“ ◴REC ”）を選ぶ。
自動的に、以下の表示を数秒間ずつ行います。
●おめざめタイマー
開始時刻→終了時刻→ソース（音源）→音量
●留守録タイマー
開始時刻→終了時刻→ソース（音源）

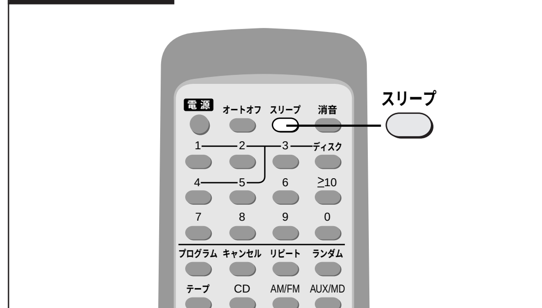
お知らせ

- タイマーを使うときは、必ず電源を切ってください。電源が入っていると動作しません。
- タイマー動作中に電源を入れ直すと、終了時刻の予約は無視されます。

■予約したあとに、本機で演奏を楽しむには
① 電源を入れ、通常の演奏操作をする。
② 演奏後は、電源を切る。
音量やソースを変更しても、予約内容には影響しません。

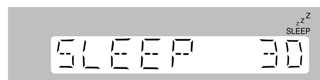
■タイマー動作する／動作しないを切り換えるには
タイマーは、“ ◴PLAY ”（または“ ◴REC ”）が点灯中は、予約通りに毎日動作します。
動作させないときは、[◴再生/◴録音]を押して表示を消します。

おやすみタイマーを使う



指定した時間がくると、演奏を停止し自動的に電源が切れます。

ソースを聞きながら[スリープ]を押して
演奏時間を指定する
押すたびに
30 → 60 → 90 → 120 → OFF（単位：分）



■解除するには
[スリープ]を押して“ SLEEP OFF ”を選ぶ。

■残り時間を確かめるには
[スリープ]を押す。
残り時間が表示されます。

■残り時間を変えるには
[スリープ]を押して新たに時間を指定する。

お知らせ

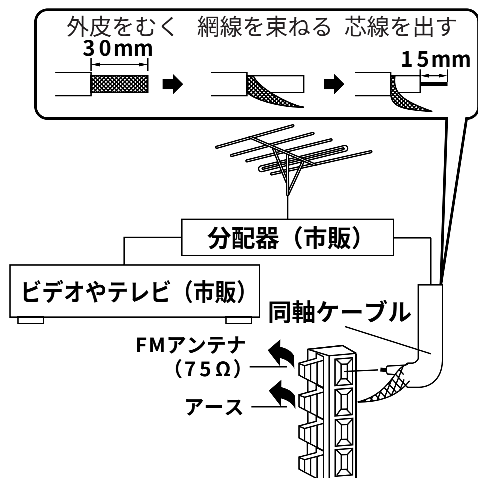
おやすみタイマーは、おめざめ/留守録タイマーと組み合わせて使えます。常におやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、タイマーの予約時間が重ならないようにしてください。

屋外アンテナの接続

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

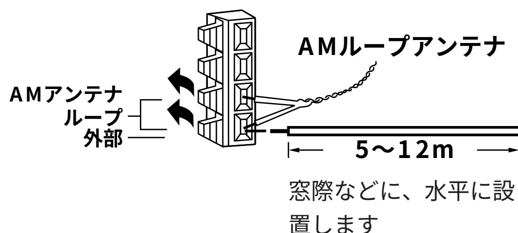
FM（テレビアンテナの利用）

付属のFM簡易型アンテナは取りはずします。



AM（市販のビニール線）

付属のAMループアンテナは取りはずさないで、いっしょにつないでおきます。



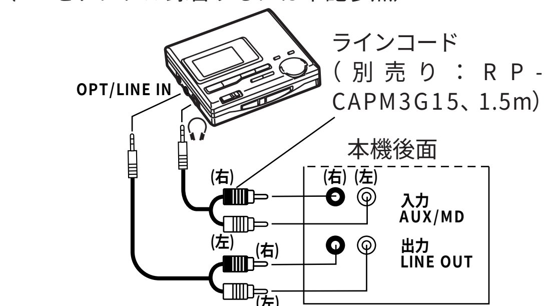
窓際などに、水平に設置します

別売り機器との接続

別売り品の品番は2000年1月現在のものです。品番は変更されることがあります。

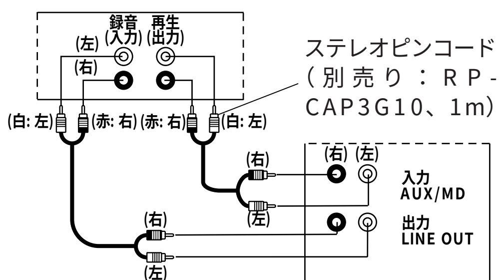
- **ポータブルMDレコーダー（アナログ接続）**

（CDをデジタル録音するには下記参照）

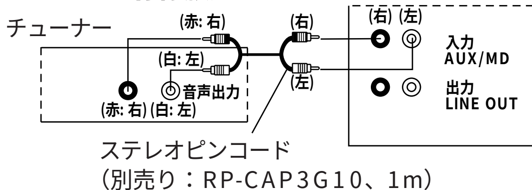


- **MDデッキなど（アナログ接続）**

（CDをデジタル録音するには下記参照）



- **CS/BSチューナー、アナログプレーヤー、テレビ、有線放送など**



- **アナログプレーヤーをつなぐには**

フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。そのままつなぐと、音が小さくなります。

推奨品：パナソニックSL-J8（フォノイコライザー内蔵）

お手持ちのアナログプレーヤーがフォノイコライザー内蔵でないときは、フォノイコライザー（サービスルート扱い：品番RFKZ0088KIT）が必要です。

- **CDをポータブルMDレコーダーなどにデジタル録音する**

① 防塵キャップをはずす
② 形状を合わせて差し込む

本機後面

光出力

または

オプティカル・デジタル・ケーブル（別売り：RP-CA2110A、1m）

OPT/LINE IN

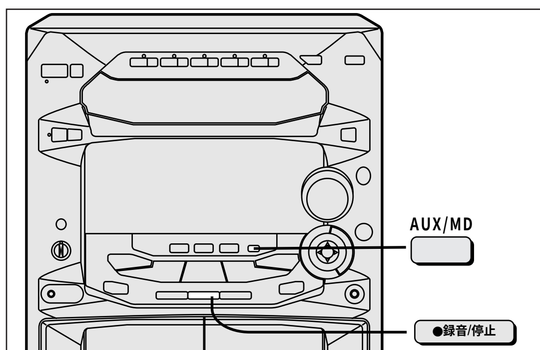
ポータブルMDレコーダー

MDデッキなど

デジタル入力

オプティカル・デジタル・ケーブル（別売り：RP-CA2010A、1m）

別売り機器を使う



接続した機器の説明書もあわせてご覧ください。

MDなど別売り機器を本機で演奏

① [AUX/MD]を押す。
自動的に電源が入りAUX/MDに切り換わります。
② ソース（音源）の演奏を始める。

別売り機器から本機（テープ）へ録音

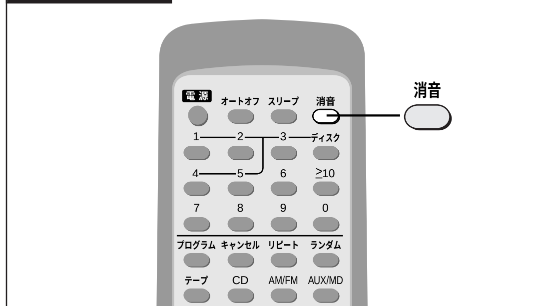
① [AUX/MD]を押す。
自動的に電源が入りAUX/MDに切り換わります。
② 表示が切り換わるまで[AUX/MD]を押し続けレベルを選ぶ。
HIGH：ポータブルMDなど、出力レベルの低い機器を使っているとき
NORMAL：上記以外の機器を使っているとき
③ [●録音/停止]を押す
④ MDなどソース（音源）の演奏を始める
●リモコンの[AUX]でレベルを切り換えることはできません。切り換えるには、本体の[AUX/MD]を操作してください。

本機からMDへ録音

① ポータブルMDレコーダーなどで録音を始める。
② 本機でソースの演奏を始める。

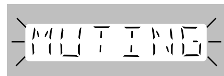
便利な機能を使う

一時的に消音する（ミューティング）



電話がかかってきたときなどに便利です。

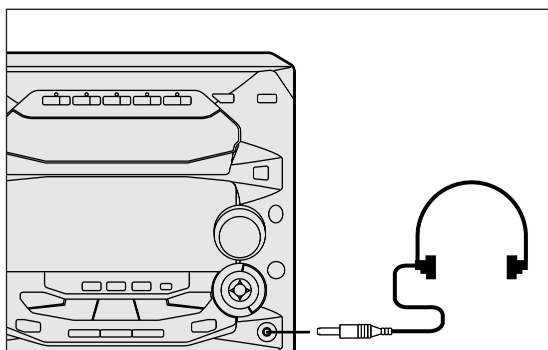
[消音]を押す（“ MUTING ” が点滅）



■解除するには

[消音]を押して、“ MUTING ” を消す。
以下の操作でも解除されます。
●[音量]を左に回して “ --dB ” を表示させる。
●電源を切／入する。

ヘッドホン（別売り）で聞く



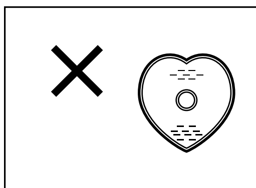
●接続するときは、音量を下げてください。
●耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。
●プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
●推奨品：RP-HT400、RP-HT242（共に別売り）

CDについて



のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状のCDはご使用にならないでください。（機器の故障の原因となります）



■取扱上のお願い

CDそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシールを貼らない
（セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるものは使わないでください）
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定外の市販品は使わない
- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷したCDは使わない

テープについて

■100分を超えるテープ

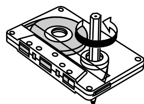
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。（回転部に巻き込まれることがあります）

■エンドレステープはオートリバース対応のものを

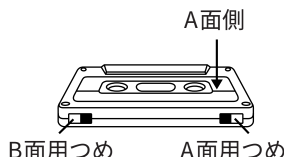
使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

■テープのたるみは巻き取ってください

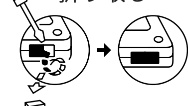
テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。



■録音したテープを誤って消さないために



ドライバーなどで折り取る



もう一度録音するには

ノーマルポジション



ハイポジション



セロハンテープなどを貼る

ハイポジションテープの種類識別穴はふさがないでください。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本　部	(03)3502−6551	中部支部	(052)583−7590
北海道支部	(011)221−5088	北陸支部	(0762)21−3602
盛岡支部	(0196)52−3201	京都支部	(075)251−0134
仙台支部	(022)264−2266	大阪支部	(06)6244−0351
大宮支部	(048)643−5461	大阪北支部	(06)6244−7077
東京支部	(03)3562−4455	神戸支部	(078)322−0561
西東京支部	(03)3232−8301	中国支部	(082)249−6362
東京イベント・コンサート支部	(03)5286−1671	四国支部	(0878)21−9191
立川支部	(0425)29−1500	九州支部	(092)441−2285
横浜支部	(045)662−6551	鹿児島支部	(0992)24−6211
静岡支部	(054)254−2621	那覇支部	(098)863−1228

お手入れ

■本体が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、あとはからぶきをしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■テープの音をよい音でお楽しみいただくために

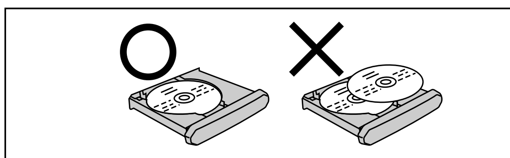
定期的に市販のクリーニングテープを使って、ヘッドを清掃されることをおすすめします。

Q&A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	**手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい**	現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、市販のフォノイコライザーアンプが必要です。 そのまま接続すると、補正機能がないため音が小さくなります。	27
	有線放送をつなぎたい	後面の「AUX/MD」端子に接続します。	27
	テレビをつなぎたい	後面の「AUX/MD」端子に接続します。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	27
	他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。 他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	9
録音	**録音中に音量や音質を変えたらどうなる?**	録音中に音量を調節してスピーカーから出る音を変えても、録音される音には影響しません。ただ音質は変えられません。 なお、録音レベルは自動的に設定されます。	23
	倍速ダビングはできる？	本機は倍速ダビングはできません。	
その他	**引っ越しするのだが、そのまま使えるか?**	東日本、西日本に関係なく使えます。 電源の周波数は、本機内部で自動的に切り換わります。	
	長時間使うと、本体が暖かくなるけれど、大丈夫?	本体内部の熱を、後面などの穴から逃がしていますから、使用には差し支えありません。	
	テープの演奏経過時間は分かる?	本機にはテープカウンターがありませんので、分かりません。	

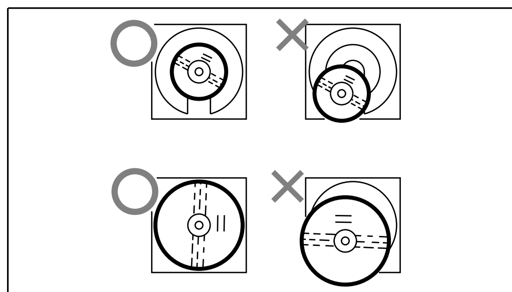
CDメカの故障防止のために

- トレイには、1枚のCDを入れる



- シングルCD（8cmCD）アダプターを使わない
- 水平なところで使用する。本機の下に雑誌などを置いて、傾けて使用しないでください
- トレイが動いている間や、CDを入れたまま本機を移動しない
- トレイにCD以外のものを入れない

- CDは、図の位置に正しく置く



- クリーニングCD、そりの大きなCD、割れたりヒビの入っているCDを使わない

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処　置	参照ページ
システム全体に共通	ECOモードにしているのに、表示パネルが全消灯しない。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」にする。	10
	電源が入っているのに音が出ない。	音量が最小になっていませんか。	[音量]つまみで調節する。	12
	音の位置が定まらない。	スピーカーコードの⊕、⊖を逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8
	左右の音が逆になる。	スピーカーコードを左右逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8
	演奏中に、突然音が出なくなった。	スピーカーコードがショートしていませんか。	電源を切り、スピーカーコードを正しく接続する。	8
FM	ステレオ放送に雑音が入る。	送信所が遠くありませんか。	簡易型アンテナの場合は、テレビアンテナを利用してみる。	27
	ステレオ放送で雑音が多く、ときどき音が出なくなる。	アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。		
	“ STEREO ”表示が点滅する。	送信所が遠くありませんか。		
		テレビ、ビデオデッキ、BSチューナーなどの電源が入っていませんか。	テレビ、ビデオデッキ、BSチューナーなどの電源を切ってみる。	
	ステレオ放送の音にひずみが多い。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	テレビアンテナを利用してみる。	27
AM	雑音が多い。	テレビと同時に使用していませんか。	本機とテレビの距離を離す。	
		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	
テープ	音が小さい。	ヘッド部が汚れていませんか。	ヘッド部を清掃する。	29
	音が途切れる。			
	雑音が多く出る。			
	音がかすれたり、ふるえる。			
	録音状態にならない。	録音用のつめを折っていませんか。	つめを折った部分にテープを貼る。	29
テレビ	画面がときどき消えたり、画面にシマ模様が出る。	テレビに室内アンテナを使用していませんか。	室内アンテナの場合は、テレビ専用アンテナに替える。テレビと本機の距離を離す。	
		テレビのアンテナ線が本機に接近していませんか。	テレビのアンテナ線を本機から離す。	
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	7
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	7
ディスク	CDを入れても、表示パネルの表示が変わらない。 演奏ボタンを押しても、演奏が始まらない。	CDが裏表逆に入っていませんか。	もう一度入れ直す。	12
		CDが汚れていませんか。	柔らかい布で拭く。	
		CDに傷がついていませんか。	新しいCDと取り替える。	
		CDが極端に反っていませんか。		
		規格外のCDを使用していませんか。	規格のCDと取り替える。	29
		寒いところから急に暖かいところに持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約1時間待ってから使用する。	
	特定の個所が正常に演奏しない。	CDが汚れていませんか。	柔らかい布で拭く。	
その他	タイマー予約ができない。	時計を合わせましたか。	時計を合わせる	10
		停電はありませんでしたか。		
	自動的に電源が切れる	オートオフ機能が働いていませんか。	オートオフ機能を解除する。	11

各部のなまえ

本体

⑩などの数字は参照ページです。

CD演奏/トレイ開
CD1▲〜CD5▲ボタン ⑫

CD マネージャーボタン ⑳

モードボタン ⑪

ランダムボタン ⑯

電源ボタンと
AC INランプ ⑩

CDトレイふた

時刻/タイマー
ボタン ⑩ ㉔

-表示/ーデモ
ボタン ⑩

◴再生/◴録音
ボタン ㉔

V.BASS（低音強調）ボタン ㉓

表示パネル

音量つまみ ⑫

カラオケボタン ㉑

3D AI EQ
（3D音場）ボタン
とランプ ㉓

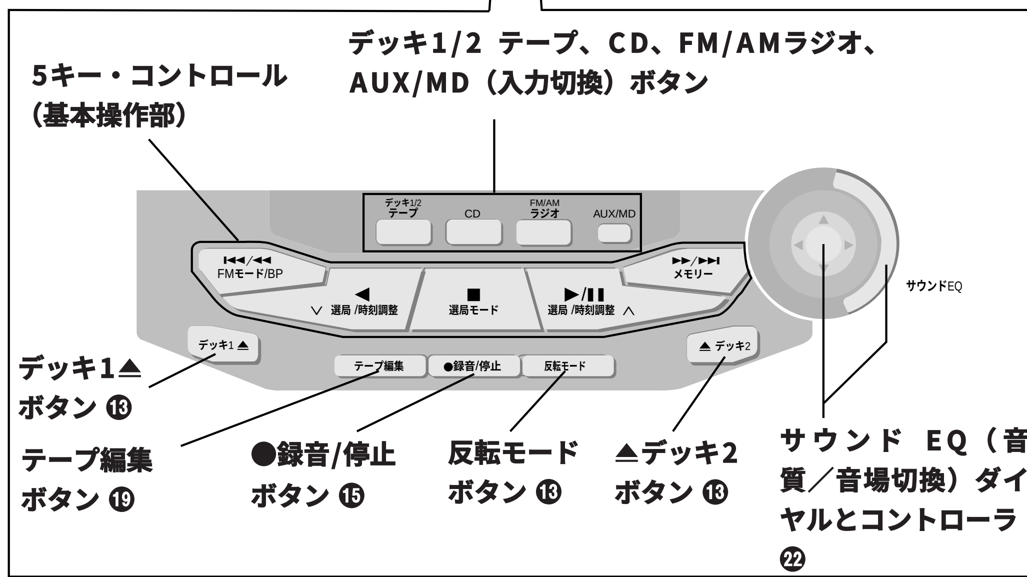
マイク音量
つまみ ㉑

マイク端子 ㉑

ヘッドホン端子 ㉘

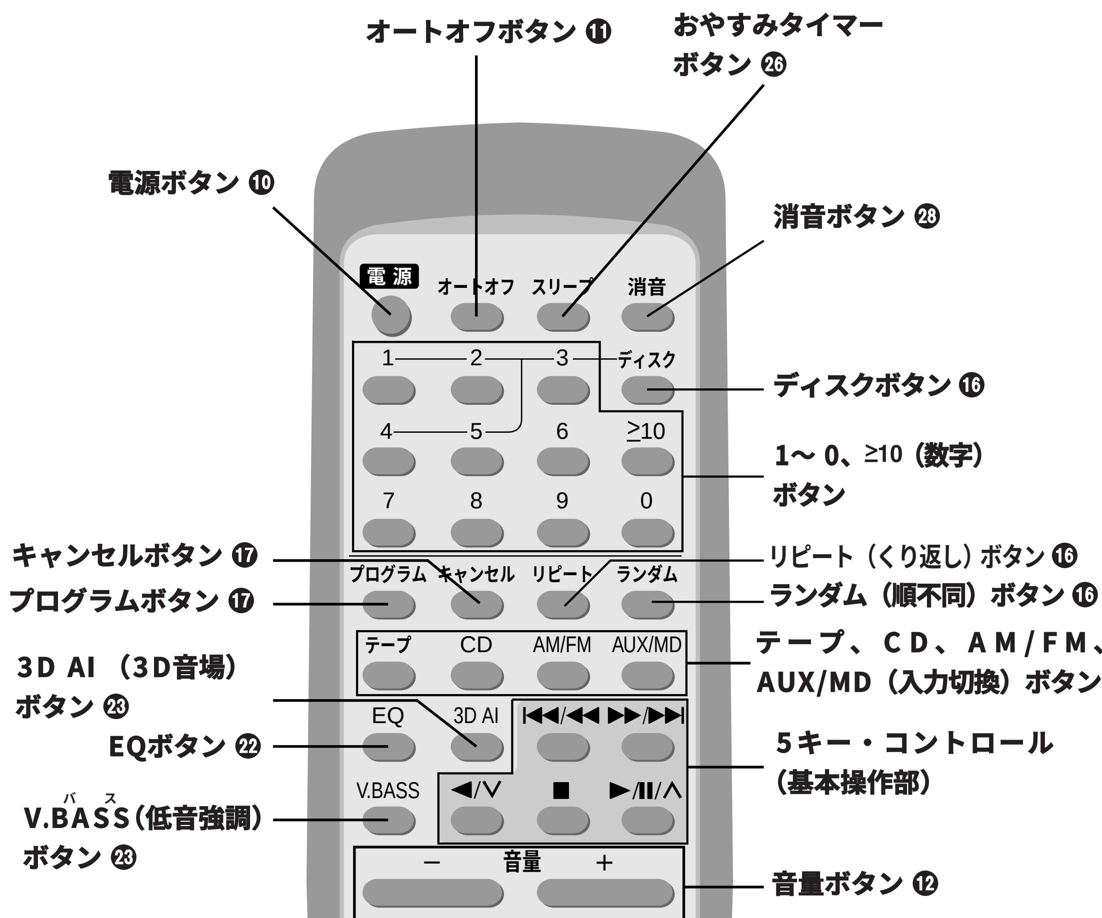
デッキ1カセット
ホルダー ⑬

デッキ2カセット
ホルダー ⑬



リモコン

リモコンのボタン名称が本体と同じ場合は、ボタンの働きも同様になります。



保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品でお困りの場合は・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき

30〜31ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、CDステレオシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

（この期間は通商産業省の指導によるものです）

注）性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック

お 客 様 ご 相 談 セ ン タ ー

使いかた・お買い物のご相談は

フリーダイヤル（料金無料）  **0120-878-365** （パナは 365日）



365日／受付9時〜20時

Help desk for foreign residents in Japan

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

Tokyo (03) 3256 - 5444　　**Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ 0570-087-087（パナ パナ）



●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

地区	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	(0138)48-6631

東北地区

地区	所在地	電話
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	(0177)39-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	(0243)34-1301

首都圏地区

地区	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	(028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	(048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	(03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	(0552)22-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	(045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	(025)286-7725

中部地区

地区	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	(059)255-1380

近畿地区

地区	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	(0734)75-1311
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	(078)272-6645

中国地区

地区	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	(0839)86-4050

四国地区

地区	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	(089)971-2144

九州地区

地区	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	(0997)53-5101

沖縄地区

地区	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0100

必要なとき

主な仕様

アンプ部

実用最大出力（両ch動作）	：30 W＋30 W（1 kHz、全高調波ひずみ率10 %、6 Ω）
入力感度	
AUX（Normal）	：250 mV
入力インピーダンス	
AUX（Normal）	：13.9 kΩ
MIC	：680 Ω

FMチューナー部

受信周波数帯域	：76.0～108.0 MHz（100 kHzステップ）TV1～3 ch音声
実用感度	2.5 μV（IHF）
SN比26 dB	：2.2 μV
アンテナ端子	：75 Ω（不平衡型）

AMチューナー部

受信周波数帯域	：522～1629 kHz（9 kHzステップ）
実用感度	
SN比20 dB、1000 kHz	：560 μV/m

カセットデッキ部

トラック方式	：4トラック、2チャンネル
ヘッド	
録音／再生	：ソリッドパーマロイ×1
消去	：ダブルギャップフェライト×1
モーター	：DCサーボモーター
録音方式	：ACバイアス、100 kHz
消去方式	：AC消去、100 kHz
テープ速度	：秒速4.8 cm
周波数特性（＋3dB、－6dB）デッキ出力	
ノーマル、ハイポジション	：35 Hz～14 kHz
SN比	：50 dB（a_WTD）
ワウ・フラッター	：0.18 %（WRMS）
早巻時間	：約120秒（C-60）

CDチェンジャー部

サンプリング周波数	：44.1 kHz
量子化	：16ビット　直線
光源	：半導体レーザー
波長	：780 nm
チャンネル数	：2チャンネル（ステレオ）
周波数特性	：20 Hz～20 kHz（＋1、－2 dB）
ワウ・フラッター	：測定限界以下
デジタルフィルター	：8 fs
DAコンバーター	：MASH（1ビットDAC）

本体総合

電源	：AC100 V　50/60 Hz
消費電力	：71 W
寸法（幅×高さ×奥行）	：270×330×310 mm
質量	：約6.8 kg

スピーカーシステム

型式	：2 ウェイスピーカーシステム
使用スピーカー	
ウーハー	：12 cmコーンタイプ
ツィーター	：6 cmコーンタイプ
インピーダンス	：6 Ω
許容入力	：100 W（Music）
出力音圧レベル	：85 dB/W（1.0 m）
クロスオーバー周波数	：5 kHz
再生周波数帯域	：45 Hz～22 kHz（－16 dB） ：55 Hz～20 kHz（－10 dB）
寸法（幅×高さ×奥行）	：210×330×257 mm
質量	：約3.0 kg

電源オフ時の消費電力	・ECOモード…0.25 W ・NORMALモード…12 W

注）1　この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
　　2　全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第10次高調波までの総和です。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

本機を移動するには

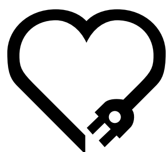
1 CDをすべて取り出す

2 [電源]を押して電源を切る

3 電源プラグを抜く

愛情点検

長年ご使用のCDステレオシステムの点検を！



こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・音が出ないことがある ・正常に動作しないことがある ・商品に破損した部分がある ・その他の異常や故障がある	このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－	品番	SC-AK18

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号

RQT5497-S
F0200HT0